

<研究主題> 確かな学力の向上をめざす授業づくり
～ユニバーサルデザインの視点による「わかる・できる」が実感できる授業～

下関市立勝山小学校

1 研修の概要

本校では、今年度、確かな学力の向上のために主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている。昨年度までの2年間、ICTの活用という研究テーマで校内研修に取り組み、より効果的な活用方法について研究し、授業改善を行うことができた。また、ICTの活用を進めていく中で、よりよい授業づくりには、特別支援教育の視点を生かした指導・支援の工夫を図ることにより、発達障害のある可能性のある児童を含めて、通常の学級の全ての児童が楽しく学び合い「わかる・できる」ことをめざす、「ユニバーサルデザインの視点」が必要なのではないかという思いを抱くようになった。

そこで、今年度は、このユニバーサルデザインの視点として、①焦点化（ねらいを絞ったり活動をシンプルにしたりすること） ②視覚化（視覚的な手立てを効果的に活用すること） ③共有化（話し合い活動を組織化すること）の3点を意識したうえで、指導・支援の工夫を図り、全ての児童が楽しく学び合い「わかる・できる」が実感できる授業をめざした。

2 研修の成果

主体的・対話的で深い学びを実現するために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れたことで、以下のような成果があった。

① 焦点化

○ 情報の精選

- ・板書の内容を精選することで、書くことが苦手な児童の負担を減らすことができた。
- ・目標とそのための活動を明確にすることで、児童が何をすればよいのかわかりやすくなった。



② 視覚化

○ 板書の工夫

- ・ワークシートと板書を同じレイアウトにすることで何をどこに書けばわかりやすくなった。

○ タブレット・電子黒板の活用

- ・手元で見たり操作したりするもの、全体で確認するものを内容によって使い分けることで、学習効果を高めることができた。



③ 共有化

○ 動いて情報交換

- ・自分の意見を書き終えた児童は、席を離れて意見交換をすることで、活動のメリハリが付き、集中力の継続につながった。
- ・児童の実態による時間差を調整することができた。

○ ロイロノートの活用

- ・各自が作成したものを画面上で共有することで、お互いの考えを知ることができた。
- ・自分の考えを表現することが苦手な児童が、他児からヒントをもらうことができ、自分の考えを表現することができた。

3 おわりに

研究の柱である『ユニバーサルデザインの視点による「わかる・できる」が実感できる授業』を進めるにあたり、教育会の助成をいただき、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりにつなげることができた。このことは、児童の学びへの意欲を高めたり、学びを深めたりすることにつながった。

これからも、学校全体の授業力向上に向け、更に精進していきたい。

令和5年10月11日（水）3校時 2-4 国語科「お手紙」

<研究協議会まとめ>

1. 自評から（授業のUD化について）

- ・導入の間違い探しでは、挿絵の必要なところをトリミングして視覚的に分かりやすいように工夫をした。
- ・見通しがもてるように学習の流れを提示した。
- ・立ち歩いて友達と意見交換させた。→多動傾向のある子どもたちへの配慮。
- ・全体での子どもたちの意見の交流時間が取れなかった。

2. 良かったところや課題として上がったこと（主なもの）

- ・指示が明確でわかりやすい。
- ・吹き出しを色分けしていたので視覚的にわかりやすかった。
- ・板書とワークシートが同じ形だったので、子どもたちが理解しやすかった。
- ・めあてとまとめが繋がっていない。
- ・子どもたちの机上がすっきりと片付くとよかった。（必要ないものは片づけさせる）
- ・活動内容が多すぎる。もっと焦点化して活動をすっきりさせるとよい。
- ・できていない子どもも多くいたので、おいていかれていたのでは？また、同じ子ばかりの発言が多かった。
- ・間違い探しではなく「違いを見つけよう」の方が的確。
- ・「ああ。」だけでなくほかの文章の音読も聞きたかった。
- ・めあての主語がなかった。



板書とワークシートが同じだったので、どこに何を書けばいいのかが分かりやすかったです。

ワークシートにかけた子どもたちは、ほかの友達のところへ行って意見交換をします。



様々な配慮のおかげで、Kくんも集中して学習に取り組むことができました。



○ 授業のUD化について

<視覚化>

・ワークシートの挿絵で必要なところだけを切り取って、焦点化して提示したところがよかったです。子どもたちに注目させたいところをしっかりと絞ったいい提示の仕方だったと思います。

・板書とワークシートが一致していたので、どこに何を書けばいいのかがとても分かりやすかったです。

<共有化>

・多動傾向のある児童への配慮もあって、終わった子どもたちが退屈にならないように、友達のところへ歩いて意見交換をさせていました。常に活動があることで、よけいなことをせず、集中して学習に取り組めていました。

・自評にもありましたが、全体での共有化ができていないところもあったので、本時のまとめが教師主導になってしまったような気がします。校長先生も言われていましたが、自分の言葉で書かせてみてもよかったのではないかなと思いました。友達がどんな風に表現したかを知って、学びを深めることができたと思います。

<焦点化>

・活動が多すぎて、途中ついていけない児童も見られました。UDの根本的な考え方として、「全員がわかる・できるを実感できる授業」を目指さなければいけません。そういった意味では、活動を焦点化して全員が活動に参加できるとよかったと思います。めあてとまとめが繋がっていないのも、活動が多いためだとも考えられます。45分の中であれもこれもと詰め込まずに、子どもたちの思考の流れを想像したり、児童の実態を考えたりして授業づくりができると、先生はもっと成長できると思います。がんばって！！

<研究協議会まとめ>

1. 自評から（授業のUD化について）

- ・本来は、1時間で行うところを今回の授業では2時間に分けて行った。事前にグラフのかき方、計算の仕方を行い、本時は割合を計算し、グラフをかくということに焦点化した授業を行った。
- ・式が見える計算アプリを使ったことで低位の子も割合の計算をスムーズに行うことができた。
- ・本時ではアンケート2まで行く予定だったが1で終わってしまった。時間配分がどうだったか？
- ・今回は丸付けをタブレットで行わせた。また、集中が途切れないように歩いて友達のところに答え合わせに行かせるなどの工夫をした。

2. 良かったところや課題として上がったこと（主なもの）

- ・計算式が見えるアプリの活用がよかった。低位の子が困ることなく取り組める。
- ・1時間のところを2時間に分けることによって、低位の子も分かりやすい授業となっていた。しかし、高学年だと1時間を取り戻すのが大変。
- ・アンケートの内容が、子どもたちの興味をひく内容だった。必要感があった。
- ・全体で答えを共有する時間があるとよかった。
- ・他の児童も間違えやすいところは、問題を解きながらではなく、全体できちんと押さえた方がよかった。
- ・ワークシートが読みやすくてよい。
- ・一人学びに集中して取り組んでいた。
- ・丸付けはチェックポイントや、透明シートを用意しておくことで正確な丸付けができた。（間違いに気付いていない子がいた）
- ・個別最適化された授業だった。



どの子も主体的に学習に取り組める小嶋学級。日頃から、子どもたち一人ひとりが大切にされている学級経営がなされています。

自分の学習スピードに合わせた課題が設定されていました。



○ 授業のUD化について

<視覚化>

・電子黒板やタブレットを使って授業が進められていました。一昔前は、教科書を何倍にも拡大コピーして、小さなメモリが分かるように準備したのですが、ICTのおかげで簡単にわかりやすく提示することができますね。ただ、円グラフはタブレットでかくことが難しいので、ワークシート一枚に大きく円グラフが拡大されていて、子どもたちは取り組みやすかったと思います。

<共有化>

・協議会でも話題になっていましたが、子どもたち同士が共有化する場面が本時では少なかったと思います。前時までの子どもたちの様子から、本時の授業で子どもたちが困りそうな場面、つまずきそうな場面（例えば：割合の計算の仕方、その他の扱い方など）を全体で共有化できるとよかったと思います。

<焦点化>

・本時の授業は、本来1時間で行うところを学級の実態から2時間に分けて取り組んだものでした。前時までに学んだことを生かして、割合の計算をして表を作り、自分の力で帯グラフと円グラフをかくことに焦点化された授業でした。焦点化されたおかげで、ほとんどの子どもたちがアンケート①までは自力で終わらせることができていました。本単元では、様々な場面つまずいてしまうことが多く予想されます。全国学調にも毎年出題される問題であることを考えると、勝山の子どもたちだけでなく全国的にも苦手とする子どもたちが多くはないかと思います。実態に合わせて、スローステップで取り組むことできちんと身に付き、結局は近道になることもあるので、いつでも指導書通りの時数でなくてもいいと思いました。

UDの考え方では、授業UDの土台は、学級経営であるとされています。協議会でも授業中の子どもたちの声掛けもUD化されているという意見が出ていたように、5年2組では学級経営のUD化がされていて、一人ひとりが大切にされている学級だと感じました。見習わなくてはと思います。